



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月29日

上場会社名 株式会社アダストリア 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL http://www.adastria.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼 最高経営責任者 (CEO) (氏名) 福田 三千男
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 林 正武 (TEL) 03-6895-6000
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績 (平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	146,814	9.8	14,347	155.4	14,665	146.5	7,964	558.1
27年2月期第3四半期	133,707	27.2	5,618	4.6	5,949	8.3	1,210	△47.3

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 10,647百万円 (243.6%) 27年2月期第3四半期 3,099百万円 (△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	328.17	—
27年2月期第3四半期	49.84	49.84

(参考) EBITDA 28年2月期第3四半期 20,551百万円 (64.6%) 27年2月期第3四半期 12,487百万円
 のれん償却前EPS 28年2月期第3四半期 396.86円 (183.5%) 27年2月期第3四半期 139.99円

※両指標の定義、計算方法等の詳細は、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	92,340	53,405	57.8
27年2月期	83,742	46,233	55.2

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 53,405百万円 27年2月期 46,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	30.00	—	45.00	75.00
28年2月期	—	40.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	70.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	7.3	14,000	134.0	14,300	121.6	6,800	—	280.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 28年2月期 通期(予想) 22,700百万円 (44.3%)
 のれん償却前EPS 28年2月期 通期(予想) 370.67円 (161.6%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(注) 特定子会社の異動に該当しない重要な子会社の異動につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項)」に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期3Q	24,400,000株	27年2月期	24,400,000株
28年2月期3Q	320,878株	27年2月期	117,988株
28年2月期3Q	24,269,684株	27年2月期3Q	24,282,035株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成28年2月期の個別業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	185,400	—	13,400	—	13,800	—	9,300	—	383.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年3月1日付で、連結子会社の吸収合併を実施し、持株会社ではなくなりました。

そのため、対前期増減率については記載を省略しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 店舗出退店等の状況	9
(2) ブランド・地域別売上高の状況	10
(3) 商品部門別売上高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年11月30日まで）におけるわが国経済は、アジア新興国等の景気下振れの影響が懸念されるものの、政府の経済対策や金融政策の効果などから、企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要ブランドが属するカジュアルウェア市場におきましては、個人消費の底堅い動きを背景に、全般的に堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、平成27年9月1日付で当社の連結子会社である株式会社N9&PGが営む衣料品等企画製造に関する一切の事業を、当社へ承継させる吸収分割（以下「本吸収分割」といいます。）を実施いたしました。

これまで、株式会社N9&PGに海外を含めた生産から物流までの機能を一元化することで、商品供給体制整備のスピードアップを目指してまいりました。しかしながら、当該体制にてグループ運営を進める中で、商品企画・生産管理機能については、物流機能よりも小売機能とより密な連携をとることがバリューチェーンの最適化には適するため、小売事業会社である当社に商品企画・生産管理機能を集約する一方、物流機能については、海外物流機能の強化・展開も見据えて別法人で運営を進めることが適切と判断し、本吸収分割を実施いたしました。本吸収分割により、経営効率化と意思決定の迅速化を図り、企業価値向上につなげてまいります。

売上高につきましては、主力ブランドの品質改善・販売力の向上やWEB事業の伸長などの要因により、前年同期比9.8%増と順調に推移いたしました。ブランド別では、「グローバルワーク」及び「ジーナシス」が高い伸びを示しました。

店舗展開につきましては、82店舗の出店（内、海外26店舗）、68店舗の退店等（内、海外25店舗）の結果、当第3四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、1,370店舗（内、海外107店舗）となりました。

収益面につきましては、円安による原価上昇の影響はあるものの、値下げロスが減少した結果、売上総利益率は58.6%（前年同期比0.8ポイント増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、広告宣伝の最適化などのコストコントロールに注力した結果、販管費率は48.8%（前年同期比4.8ポイント減）となり、営業利益率は9.8%（前年同期比5.6ポイント増）と上昇いたしました。

特別損益につきましては、店舗の減損損失3億31百万円及び関係会社株式売却損1億73百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,468億14百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は143億47百万円（前年同期比155.4%増）、経常利益は146億65百万円（前年同期比146.5%増）、四半期純利益は79億64百万円（前年同期比558.1%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間におけるEBITDAは205億51百万円（前年同期比64.6%増）、のれん償却前EPSは396.86円（前年同期比183.5%増）となりました。（※）

(※) 株式会社トリニティアーツ（現 当社）の連結子会社化等によるのれん償却額の計上により、平成26年2月期より営業利益以下の利益が大幅に引き下げられることとなりました。のれん償却額は現預金の流出を伴わない費用であるため、キャッシュフローの増減と、営業利益以下の利益項目の増減に大きな乖離が発生しております。また、各国の会計基準によって計上方法が異なるため、海外企業との適切な比較も困難となっております。これらの点を考慮し、「EBITDA」及び「のれん償却前EPS」を参考指標として開示しております。

「EBITDA」

営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額（販管費）

「のれん償却前EPS」

（当期純利益 + のれん償却額（販管費、特別損失） + 減損損失（のれん））÷ 期中平均株式数

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、85億98百万円増加して923億40百万円となりました。これは主に、のれんが18億81百万円、投資その他の資産のその他（繰延税金資産など）が26億7百万円それぞれ減少した一方で、受取手形及び売掛金が56億68百万円、たな卸資産が51億79百万円、投資有価証券が43億79百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、14億26百万円増加して389億35百万円となりました。これは主に、短期借入金金が18億18百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が23億89百万円、未払金が22億33百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、71億71百万円増加して、534億5百万円となりました。これは主に、自己株式が14億12百万円増加（純資産は減少）した一方で、利益剰余金が59億円、その他有価証券評価差額金が30億91百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月30日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

「参考」個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月30日に公表いたしました通期の個別業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、平成27年3月1日付で、当社を存続会社、当社の連結子会社であった株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツは消滅し、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,677	8,992
受取手形及び売掛金	7,593	13,261
たな卸資産	14,488	19,668
その他	4,777	2,971
貸倒引当金	△48	△101
流動資産合計	34,488	44,793
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	8,420	7,363
その他(純額)	4,487	4,324
有形固定資産合計	12,908	11,688
無形固定資産		
のれん	7,921	6,039
その他	1,372	1,554
無形固定資産合計	9,293	7,593
投資その他の資産		
投資有価証券	7,604	11,983
敷金及び保証金	16,924	16,388
その他	2,754	147
貸倒引当金	△232	△254
投資その他の資産合計	27,051	28,265
固定資産合計	49,253	47,547
資産合計	83,742	92,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,246	8,636
電子記録債務	8,855	9,312
短期借入金	3,753	1,935
未払金	9,687	11,920
未払法人税等	3,293	4,284
賞与引当金	2,036	1,161
その他の引当金	358	353
その他	1,008	296
流動負債合計	35,240	37,900
固定負債		
引当金	95	94
その他	2,173	940
固定負債合計	2,268	1,035
負債合計	37,508	38,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	6,987	6,987
利益剰余金	32,651	38,551
自己株式	△406	△1,818
株主資本合計	41,892	46,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,631	6,722
繰延ヘッジ損益	357	92
為替換算調整勘定	352	209
その他の包括利益累計額合計	4,341	7,024
純資産合計	46,233	53,405
負債純資産合計	83,742	92,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	133,707	146,814
売上原価	56,398	60,751
売上総利益	77,308	86,063
販売費及び一般管理費	71,690	71,715
営業利益	5,618	14,347
営業外収益		
受取配当金	75	98
為替差益	200	—
その他	245	419
営業外収益合計	520	517
営業外費用		
支払利息	44	27
為替差損	—	65
デリバティブ評価損	133	4
賃貸収入原価	—	72
その他	10	29
営業外費用合計	189	199
経常利益	5,949	14,665
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
減損損失	814	331
関係会社株式売却損	—	173
特別損失合計	814	505
税金等調整前四半期純利益	5,144	14,159
法人税、住民税及び事業税	5,021	6,124
法人税等調整額	△1,086	70
法人税等合計	3,934	6,195
少数株主損益調整前四半期純利益	1,210	7,964
四半期純利益	1,210	7,964

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,210	7,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,398	3,091
繰延ヘッジ損益	610	△265
為替換算調整勘定	△120	△143
その他の包括利益合計	1,889	2,682
四半期包括利益	3,099	10,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,099	10,647
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式200千株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が14億12百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が18億18百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 店舗出退店等の状況

店舗業態・地域	店 舗 数					
	前連結会計 年度末(注)3	当第3四半期連結累計期間				当第3四半期 連結累計期間末
		出 店	変 更	退店等	増 減	
グローバルワーク	178	7	—	△2	5	183
ローリーズファーム	158	5	10	△8	7	165
ニコアンド	116	7	—	△1	6	122
スタディオクリップ	162	10	—	△1	9	171
レブシムローリーズファーム	125	7	—	△2	5	130
ジーナシス	84	1	5	△2	4	88
レイジブルー	64	2	7	△11	△2	62
ヘザー	75	1	—	△6	△5	70
その他	285	16	△22	△7	△13	272
当社合計	1,247	56	—	△40	16	1,263
その他(注4)	3	—	—	△3	△3	—
国内合計	1,250	56	—	△43	13	1,263
香港	24	5	1	△3	3	27
中国	34	15	—	△8	7	41
台湾	26	1	—	△1	—	26
韓国	12	5	—	△4	1	13
シンガポール	10	—	△1	△9	△10	—
海外合計	106	26	—	△25	1	107
グループ合計	1,356	82	—	△68	14	1,370

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 平成27年3月1日付で、当社を存続会社、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施しております。そのため、当社の前連結会計年度末の店舗数は、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツの前連結会計年度末の店舗数を記載しております。
4. その他の退店等は、関係会社の売却に伴う減少を記載しております。

(2) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	当第3四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%) (注) 2
	売上高(百万円)	構成比(%)	
グローバルワーク	26,159	17.8	18.2
ローリーズファーム	18,869	12.9	4.0
ニコアンド	16,534	11.3	12.8
スタディオクリップ	15,309	10.4	6.0
レブシムローリーズファーム	11,302	7.7	6.6
ジーナシス	9,057	6.2	16.9
レイジブルー	6,614	4.5	6.0
ヘザー	5,538	3.7	1.9
その他	28,057	19.1	6.8
当社合計	137,443	93.6	9.4
その他	438	0.3	△40.2
国内合計	137,881	93.9	9.1
香港	5,487	3.7	18.1
中国	1,463	1.0	65.8
台湾	1,142	0.8	16.0
韓国	657	0.5	560.6
シンガポール	181	0.1	△73.9
海外合計	8,933	6.1	22.2
グループ合計	146,814	100.0	9.8

(注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。

2. 平成27年3月1日付で、当社を存続会社、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツを消滅会社とする吸収合併を実施しております。そのため、当社の前年同期比増減率は、株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツの前年同期の売上高と比較した増減率を記載しております。

(3) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第3四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	19,801	13.5	7.9
レディース(ボトムス・トップス)	98,093	66.8	9.5
雑貨・その他	28,919	19.7	12.1
合計	146,814	100.0	9.8

(注) 雑貨・その他は、ポイント引当金繰入額等が含まれております。